

ボランティアコーディネーター ニュース	No20(3号) 2010年7月28日
支 援	町田市 学校支援実行委員会 実行委員長 白井 一生

10年度 学校支援実行委員会 連絡協議会開催(6/25)

6月25日(金)に2010年度学校支援実行委員会 連絡協議会が開催されました。各学校からの実行委員、連携団体代表、小中校長会代表、合わせて69名(内委任状10名)の参加となり、定足数26名を大きく上回って開催されました。また、教育委員会より小瀬村教育総務課長、小泉指導課長はじめ7名の市教委関係者も運営委員として参加いたしました。

連絡協議会は、町田市教育委員会指導課統括指導主事 山口 茂 運営委員の司会で始まりました。

はじめに、町田市教育委員会 白井 一生 学校教育部長より実行委員長挨拶がありました。

白井委員長の下で議案である09年度の活動内容と決算が報告されました。白井満里子様(町田市社会福祉協議会事務局長)より、決算の監査報告がなされました。

決算に関する質疑では、「支出にコンサル委託料とあるがどのような仕事をしたのか」という質問がありました。これについては、「委託料は本事業の全般的なアドバイザーとしての仕事に対してのもの。再委託料はMGNの構築や学校支援センター事務員の派遣等に対してのもの」との回答がなされました。

続いて、10年度活動計画、10年度予算についての報告を受け、質疑応答、意見交換を行いました。

活動計画では、以下のような説明を中心に行いました。

- (1) 統括コーディネーターの活動(MGNモデル校対象の取り扱い説明会、さらにきめ細かい人材紹介)
- (2) 学校支援センター管理(広報活動としてHPの立ち上げ、ボランティアコーディネーターへの保険の適用を開始)
- (3) 学校支援センター事業マニュアル作成(今後の業務に向けて業務マニュアルを作成)

予算案では、昨年度のコーディネーターの活動実績に基づいた予算額や、消耗品として各学校からも要望を受けて執行することなどが説明されました。

質疑では、

- ①学校も地域に対して「開いていく」ということをもっとアピールしてもよいのではないか。
- ②ボランティアの方々にも学校支援センター事業の予算から謝礼を支出できないか。
- ③シルバー人材センターの活用に当たり、今年度も予算化されたのか。また、依頼する場合はどうすればよいか。
- ④ボランティアコーディネーターの謝金は、学校ごとに上限はあるのか。などが出されました。

答弁として、

- ①学校支援センターは地域の力を学校の教育活動に生かす方向で考えているが、地域の方が繰り返し学校に入ることによって学校が開かれ、地域の活性化にもつながるものと考え。今後はHP等でボランティアコーディネーターやボランティアの方々の取り組みを積極的にPRしていきたい。
- ②委託事業費の謝礼分については、ボランティアコーディネーターへの支出のみとなっています。
- ③今年度も予算化されています。副校長から学校支援センターを通してシルバー人材センターに依頼すること

なっています。

④学校ごとに上限は設けていません。一人につき1日3時間、3,600円までということをお願いしています。との回答がなされました。

2009年度・2010年度の報告議案とも、拍手をもってご承認いただきました。

終わりに当たっての挨拶の中で、白井実行委員長より、学校支援本部事業の今後の見通しについて、2011年度からは補助事業として現在の事業が継続されていくものと考えております。この方策に対応し、様々な角度から、町田市学校支援実行委員会としてのあり方を検討していきたいと思っておりますと話されました。

今年度も、コーディネーターの皆様には、学校・保護者・地域の方とともに次代を担う子どもたちの育成のために様々な活動を展開していただくと共に、コーディネーターミーティングなどで経験交流や情報交換を行い、ボランティアの方を育てていただき、さらなる事業の充実を図ってほしいと思っております。よろしくお願いたします。

「みんなで支える学校 みんなで育てる子ども」

2010年度 第1回 ボランティアコーディネーターミーティング 開催される

7月1日(木)13時30分から「町田市教育センター」にて、今年度1回目のコーディネーターミーティングを開催いたしました。

今回は、「学校支援センター前統括コーディネーター 佐藤静雄 先生」を講師としてお招きし、町田市の単独企画として実施しました。都を通して多摩地域の教育委員会にも呼びかけたところ、日野市と八王子市の関係者が3名参加されました。コーディネーターの方々には44名が参加されました。(総参加者 53名)また、ご来賓として、町田市教育委員会教育委員 高橋圭子氏、町田市校長会より本町田小学校長 小原良雄氏にご出席くださいました。

はじめに、運営委員(指導課統括指導主事) 山口茂より挨拶がありました。その後、講演会に移りました。

講演テーマは、「みんなで支える学校 みんなで育てる子ども」としました。パンフレットや冊子など、いろいろなところで使っているテーマです。

佐藤先生は、本事業の開設期からかわり、試行錯誤を繰り返しながら軌道に乗せ、他の地域からも関心をもたれるまでにしてくださいました。講演を通じて、今後の私たちの道しるべを指し示していただきました。特に、コーディネーターとして活躍することは、学校を支援するための自分自身の社会参加活動であり、コーディネートされた人々が学習成果を生かして同じように社会参加を行うのを支援することにつながると力説されておりました。

講演会に引き続いて、小学校は6地区に分かれて、中学校は2分割してミーティングを行いました。情報交換やサマースクールのことなど、いつものように活発な話し合いが行われました。

今年度初めてのミーティングでしたが、これからの活動に大いに役立つ講演・ミーティングであったと思います。本年度はミーティングを9月に地区別で、11月に合同で計画しています。9月の会場は地区ごとにし、集まりやすい場所・時間でミーティングを行っていただきます。さらにきめ細かい情報交換ができるのではないかと期待しています。

学校支援センターも可能な限り取材に行きたいと思っておりますので、場所や日時等が決まりましたらご連絡ください。(別紙案内参照)



6月11日(金)
小川小5年「田植え」
学校近くの水田にて

ボランティア協力者
地域農家の皆様方



保護者による授業お手伝い

6月12日(土) 高ヶ坂小 全校授業参観日



3年:アイマスク体験

協力:ボランティアセンター



これは、
なにかな?



どこの国の道
具を使ってみ
たかな?

6月12日(土) 忠生一小 世界発見子ども広場 (桜美林大学との協働事業)

第1回町田市学校支援ボランティアコーディネーター・ミーティング

7月1日(木) 教育センター4階会議室



講師:佐藤静雄先生



コーディネーター同士の情報交換

コーディネーターだより

学校支援センターでは、皆様方のレポート等歓迎しております。ご協力お願いいたします。

★保護者ボランティアへの期待★ 鶴川第一小学校 ボランティアコーディネーター 田中浩代

【水墨画体験 6年生社会科 「室町文化」】

6月7日(月) 6年生社会科「室町文化」水墨画体験を行いました。これは昨年度、初めてコーディネートした取り組みで、先生方にも子どもたちにも好評だったので今年度も早速、日程を調整しシルバー人材センターより講師をお招きし実現する運びとなりました。子どもたちは、講師の方々の丁寧な指導をよく聞き、濃い墨と薄い墨をうまく使い分け「竹」の絵を描きました。



最初はうまく描けなかった子どもたちも、コツを掴むと最後にはそれぞれ個性ある、水墨画を仕上げる事ができました。体験後に、別のお手本「なすときゅうり」をいただくと、家でまた描いてみたいと、お手本を大事にしている様子を目にし、また来年の6年生にも是非体験させたいと思いました。今年度は、当日見学に来られた保護者の方にも、水墨画体験をしていただきました。すると、その中には子どもたち以上に興味を持ち、何枚も上手に描いているお母様がいらっやっや、来年度はこういった保護者の方に、**保護者ボランティア**としてのお手伝いを、是非お願いしようと思いました。



【鶴一小 読み聞かせボランティア 「お話探検隊」】

本校には、保護者の読み聞かせグループ「お話探検隊」があります。これはもともと、一部の保護者有志が集まり、不定期に活動をしてきたものですが、今年度より、子どもたちの読書意欲向上を目的として、もっと読み聞かせを充実させてほしいとの意向があり、読み聞かせ担当のボランティアコーディネーター(三池みほさん)を新しく置き、新たな取り組みを始めました。

まず、保護者全体に読み聞かせボランティアの募集をかけましたところ、30名ほどのメンバー登録があり、それを元に3名ずつのチームに分けてシフトを組み、1学期間活動していただきました。内容は、各クラスごとに月1回以上、国語の時間内で15分程度の読み聞かせとし、あらかじめそれぞれのチームが担当する、学年にふさわしい本を選び準備し、当日までに打ち合わせとリハーサルをして本番に臨むことになります。ボランティアの皆さんにとって、自身のお子さんのクラス以外に読み聞かせに入ることは、新たな発見もあり、学校や先生方に対し、理解を深めてくださっているように感じました。更に、この活動は、異学年のお母様方同志の交流を盛んにし、お母様方の楽しいコミュニティの場となっているように思います。

また、先生方や子どもたちにも、読み聞かせボランティア「お話探検隊」の存在を認識してもらえた1学期となりました。



7月14日、1学期を振り返り、読み聞かせボランティアの皆さんにお集まりいただきミーティングを行いました。仕事をしながら活動に参加してくださる方、小さいお子さんを連れて活動してくださる方など、さまざまでしたが、皆さんそれぞれ、子どもたちのために、自分の出来る範囲でボランティアをしたいという方ばかりで、率直な意見交換が行われ、とても有意義な会となりました。今回のミーティングを元に2学期以降も、より一層充実した、読み聞かせ活動を行っていききたいと思います。

また今後は、読み聞かせ以外にも**保護者ボランティアの拡大**を考えています。子どもたちにとって、多くの保護者とつながることは、地域において顔見知りが増えることとなり、地域の**防犯**にも、つながっていくと確信します。先生方は何年かすると、異動されてしまいますが、保護者は自身の子どもの卒業後、信頼のおける地域住民となり、子どもたちを見守っていただけることでしょう。これからも、**多方面において保護者ボランティアに大いに期待しているところです。**

田中様、ご協力ありがとうございました。学校支援センター